

屋内貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		塗料の製造業					
建築物の構造	階数	1	建築面積	200 m ²	延べ面積	200 m ²	
	壁	延焼のおそれのある外壁	ALC 100mm	柱	鉄骨 ラスモルタル	床	鉄筋 コンクリート
		その他の壁	同上	はり	鉄骨	屋根又は 上階の床	鉄骨 スレート
	窓	—	出入口	特定 防火設備 (防火戸)	階段	—	軒階 高高 4.0 m
建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造		階数	—	建築面積	— m ²	延べ面積	— m ²
		建築物の構造概要					
架台の構造		鉄製(高さ2m) アンカーボルトで固定					
採光、照明設備		安全増防爆型蛍光灯 40W 20本					
換気、排出の設備		ルーフファン(安増)2基、ガラリ(引火防止網付)2カ所					
電気設備		電気設備に関する技術基準を定める省令により施工					
避雷設備		独立避雷針 1基 (JIS A420 2003)					
通風、冷房装置等の設備		—					
消火設備		第3種屋外泡消火栓 2基、ABC20kg 1台、ABC3.5kg 5台					
警報設備		自動火災報知設備					
工事請負者住所氏名		大阪市 区 町 丁目 番号 建設株式会社 工務課 電話 -					

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

備考 2 建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。